

港湾振興便り



2023. 7

第194号

*:

目 次

*:

1 ポートエッセイ —みなとまち新潟の夏に思う—
～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

2 トピック

- みなとオアシスピングの販売開始 ～オリジナルピンバッジで「みなとオアシス」巡り～
(北海道みなとオアシス活性化協議会事務局)
- 最大級の新型クルーズ船「MSCベリッシマ」日本初寄港レポート
(関東地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)
- 受発注者間で情報共有を図る「品質向上説明会」を開催しました
(北陸地方整備局 港湾空港部)

*:

1 ポートエッセイ —みなとまち新潟の夏に思う—

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

*:

今年も夏がやって来た。夏といえば、各地で祭りが催される季節でもある。今年はふるさとに帰省されて祭りを楽しむ方も多いことと思う。

ようやくコロナウィルス感染症の影響で中止や縮小を余儀なくされていた様々な伝統的行事、祭り等が何年か振りに各地で催されている。

新潟市でもコロナ禍で2年間中止され、昨年規模を縮小し行われた新潟まつりがコロナ禍前の姿で開催される。

日本最大級の大民謡流しにはじまり、古式ゆかしい住吉行列、水上みこし渡御、最終日は夜空を光と音で彩る圧巻の花火大会でフィナーレを飾る。

江戸時代、北前船の寄港地として栄えた新潟港。17世紀、新潟の回船問屋が、海の神として信仰がある大阪の住吉大社からご神体を受け、1726年に行列を組むまつりが行われたとされる。以来、みなとまち新潟の海上安全や湊の発展を祈願する「住吉祭」として市民に親しまれ、現在は新潟まつりとして市民と一体となり盛大に行われている。

このような古式ゆかしい衣装をまとった行列を目の当たりにすると、いにしへの北前船や旅人が行き交うみなとまちとして、大いに栄えた様子が偲ばれる。

その北前船は日本海側各地と西日本を結ぶ大動脈であり、物だけでなく、多様な文化も運び、各地の生活の向上、持続可能な社会・経済の発展に大きな役割を担った。

北前船といえば、国土交通省北陸地方整備局では北陸港湾ビジョンの中で「北前船を広域的なネットワークとして捉え、各地域を社会・経済的に繋ぐことにより、新たな文化を醸成し、北陸地域の発展、持続可能な社会づくりに貢献する。」とした「日本海北前船構想2030」を策定している。

現在、物流、産業、防災、維持管理、観光を柱とした様々な取り組みが行われている。

社会活動、経済活動がコロナ禍前に戻りつつある今日にあって、先人の北前船にも学びながら、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきたい。

*:

2 トピック

*:

●みなとオアシスピンの販売開始 ～オリジナルピンバッジで「みなとオアシス」巡り～

(北海道みなとオアシス活性化協議会事務局)

「みなとオアシス」は、港湾を核とした住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請により登録するものであり、北海道では12のオアシスが登録されています。

北海道みなとオアシス活性化協議会(構成員:各みなとオアシス運営団体代表等、事務局:北海道開発局)では、認知度アップと来訪者の満足度向上を目的に、オリジナルピンバッジ「みなとオアシスピズ」を作成し、令和5年6月20日(火)に各オアシスの代表施設等で販売を開始しました。

北海道の12のオアシスがー丸となった企画であり、みなとオアシスが連携したピンズ作成の取り組みは全国初となります。みなとオアシス巡りによる相乗的な効果を期待しています。

※みなとオアシスピンの関連情報については、下記URLをご覧ください。

【URL】 (<http://gachapinsrally.com/topics/topics-detail.php?id=150>)

※北海道のみなとオアシスの情報については、下記URLをご覧ください。

【URL】 (https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kk/kou_kei/ud49g7000000tn4q.html)



みなとオアシスピズ(全12種類)



販売方法(カプセルトイ)

●最大級の新型クルーズ船「MSCベリッシマ」日本初寄港レポート

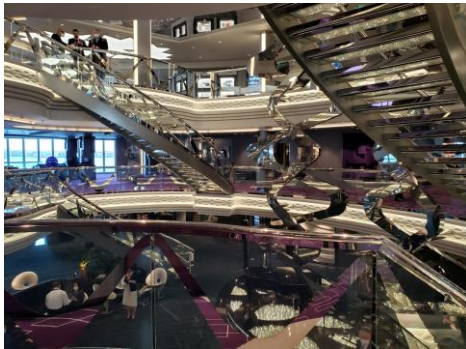
(関東地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

4月26日(水)、日本に寄港するクルーズ船としては過去最大級となる「MSCベリッシマ(2019年初就航・17万1598トン・乗客定員5,568人)」が横浜港大黒ふ頭に入港しました。

翌27日には同船の日本初寄港と運航会社であるMSCクルーズジャパンの創立15周年を記念した船内イベントが開催され、行政機関、報道機関などの関係者が招待されました。

イベントでは、船内施設の案内が行われたほか、1,000人収容可能なロンドンシアターにおける音楽パフォーマンスの披露やレストランにて地中海料理の提供などもあり、乗客さながらの疑似体験ができるプログラムとなっていました。

さらに翌28日には、同船も含めたクルーズ船5隻が横浜港に同時着岸しており、こちらも日本初となっております。同船は今後も横浜港を発着地としたツアーがいくつも組まれており、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだクルーズ需要回復の起爆剤となる事が期待されております。



<豪華絢爛な船内>



<全長90m超のショッピングモールとスクリーン型天井>



<船上プールに併設されたウォータースライダー>

